

## ～済生会今治病院専門認定看護師レター～ 第7号 2015年 11月号

私達も、空にかかる虹のように、他職種連携のために懸け橋となれるよう活動を行えたらと考えております。今回は第6号に続き、「緩和ケアチーム」「糖尿病チーム」の紹介をしたいと思います。

今年の8月、化学療法認定看護師が誕生しました。当院の専門看護師・認定看護師は6分野7名となりました。

### \* 化学療法認定看護師の紹介 \*

今年の8月にがん化学療法看護認定看護師となりました。主な活動の場は外来化学療法室です。スタッフの皆様、ご質問がありましたらご連絡ください。

がん化学療法を受ける患者さまやご家族の方は、抗がん剤の副作用による日常生活の変化や容姿の変化などの不安と治療効果への期待があります。そういった「不安」と「期待」を理解し、患者さまやご家族の方と向き合う事を大切に、日々の看護を実践していきたいと思っています。よろしくお願ひします。

阿部裕美

### \* 緩和ケアチーム \*

●当院は、がん診療連携拠点病院であり、緩和ケアの体制の整備が必要です。

がん診療連携拠点病院の要件の一つとして、下記の事も求められています。

・がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的苦痛等のスクリーニングを診断時から外来および病棟にて行うこと。院内で一貫したスクリーニング手法を活用していること。

・スクリーニングされたがん患者の苦痛に対して緩和ケアチームと連携し適切に緩和する

●当院では、苦痛のスクリーニングをSTAS-Jで評価することとなっています。

スクリーニングをして、苦痛の対応が困難な時には、チームへ相談していただきたいと思います。

#### ●緩和ケアチーム

週に一回(木曜日午後)病棟へ(6階から順番に)チームメンバーが行きます。

基本的には、相談がある部署、またはSTAS-Jで2以上がある部署にまわります。

相談したい事がある場合、相談したい内容など必要事項を事前に診療記録へ記入し、CMフォルダ[緩和チーム]へ登録してください。ラウンド以外の時に相談がある場合は、連絡ください。

医師、看護師だけではなく、他の職種の方からも相談していただいで大丈夫です。

相談がなくてもSTAS-Jが2以上の方について、状況確認をさせていただくことがあります。情報提供をお願いします。よりよいケアを一緒に考えましょう。



## \* 糖尿病チーム \*

糖尿病は慢性疾患であり、継続した支援が必要になります。  
チームで継続支援出来るシステムを作る事が課題です。  
カンファレンスや、回診を通して、チーム内で意見交換を行う事により、顔の見える  
チーム・風通しのいいチームを作りたいと考えております。

糖尿病チームは、糖尿病学会専門医、糖尿病看護認定看護師、糖尿病療養指導士  
糖尿病チーム医療委員会が中心になり、様々な活動を行っています。

- メンバー：医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・管理栄養士・理学療法士・MSW
- 主な活動

院内：糖尿病・栄養代謝カンファレンス（毎週月曜日）

糖尿病回診（毎週火曜日）

糖尿病チーム医療委員会（各月開催）

糖尿病リンクナース委員会（毎月開催）

フットケア外来（週2回）

透析予防指導外来（週2回）

8日間糖尿病教育入院 ⇒今年度よりクリニカルパスを導入しました！！

糖尿病教室 ⇒1型糖尿病患者さん対象の教室・集いの会を開催しました。

インスリン治療患者指導（インスリン注射・自己血糖測定）

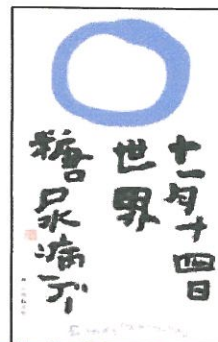
世界糖尿病デー啓発活動（11月14日）

院外：市民公開講座 体験コーナー 企画・運営

朝倉フェスタ 健康相談に参加

学会発表

研修会講師



## \* 研修会のお知らせ \*

- H27年11月16日 「化学療法を受ける患者の看護」 院内研修  
講師：化学療法看護認定看護師 阿部裕美
- H28年 1月27日 「高齢患者の感染予防」 院内研修(Web研修・講義)  
講師：感染管理認定看護師 西村小百合

